

栄養ケア・マネジメントの実践に係るアンケート

1. 現在、栄養士会に入会していますか。
- 1-2. 所属栄養士会を選択してください。

2. 勤務先

医療（19床以上病院）
医療（19床未満 診療所、クリニック、健診センター等）
福祉（介護保険施設）
福祉（障害者支援施設）
福祉（上記以外の福祉施設）
福祉（保育所、幼稚園、こども園、児童福祉施設など）
受託給食会社
直営の社員食堂や寮などの集団給食施設
保健衛生（保健所、市町村保健センター等）
保健衛生（民間の保健施設など）
教育（小・中学校栄養教諭・栄養職員）
教育（高等学校）
教育（栄養士・管理栄養士養成施設）
学術・研究機関
地域活動
フリーランス、自営
食品企業
製薬企業
薬局・ドラッグストア
スポーツ関連施設
非営利団体（公益活動等の団体）
情報サービス（新聞、出版、インターネットサービスなど）
飲食サービス（食堂、飲食店、配食サービスなど）
その他

3. 現在の勤務先での勤務年数

～1年未満
1～3年未満
3～5年未満
5～8年未満
8～10年未満
10年以上

4. 栄養ケア・マネジメントの経験年数

未経験
～1年未満
1～3年未満
3～5年未満
5～8年未満
8～10年未満
10年以上

5. 栄養ケア・マネジメント（スクリーニング、アセスメント、栄養計画、栄養介入の実施、モニタリング、評価）体制は稼働していますか。

6. 性別

7. 医療機関や福祉施設、在宅間等における双方向の栄養情報について、状況を下記より選択してください。

栄養情報を退院・退所時に提供している
栄養情報の共有を双方向で連携している（発行している）
栄養情報の双方向共有は手つかずである（発行していない）
医療機関や福祉施設、在宅間等における連携の機会はない
その他

8. 次の各項目は、講義のポイントを示しています。自身の現在の理解度を4段階または5段階で評価してください。
また、それぞれの項目に関して、ご自身の課題となっている点、困りごとをご記載ください。

■「最新の保健医療福祉の連携」に関して

- 8-1 わが国の健康・栄養政策や医療・福祉政策等の最新の動向について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-2 低栄養、フレイルの状況を把握した上で栄養改善の多職種への提案について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-3 生活保護や生活環境の課題と栄養ケアの関係について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-4 保健医療福祉の連携の必要性について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-5 保健医療福祉の連携に関して、業務を行う上でご自身の問題・課題となっている点、困りごとをご記載ください。

■「給食管理運営」に関して

- 8-6 栄養ケアの推進を目的とした給食管理の意義や運営目的について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-7 給食管理の基本と管理栄養士の役割について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-8 対象者の特性を把握した集団調理の運営について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-9 業務委託の適切なすすめ方について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-10 給食運営に係るConflictへの適切な対応について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-11 給食管理運営に関して、ご自身の課題となっている点、困りごとをご記載ください。

■「食事管理プロセス」に関して

- 8-12 経口移行、経口維持のための嚥下スクリーニング、口腔ケア、食事介助のための具体的な手法について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-13 嚥下調整食分類を理解した上での対象者に適した食事提供について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-14 「食べることを支える」チームアプローチのあり方について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-15 摂食嚥下障害への栄養介入に関して、ご自身の課題となっている点、困りごとをご記載ください。

■「栄養ケアプロセス」に関して

- 8-16 栄養ケアプロセスの理解について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる
 - 1 自信がない
 - 0 全く分からない
- 8-17 栄養ケアプロセスの実践状況について
- 4 実践できており、スタッフに指導できる
 - 3 十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-18 栄養診断コードやPES報告の活用について
- 4 栄養診断やPES報告についてスタッフに指導できる
 - 3 栄養診断やPES報告について十分実践できるレベルである
 - 2 栄養診断やPES報告について何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-19 栄養診断やPES報告の症例検討について
- 4 症例検討内容を活用してスタッフに指導できる
 - 3 症例検討内容を十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-20 栄養ケアプロセスに関して、ご自身の課題となっている点、困りごとをご記載ください。

■「電解質と輸液」に関して

- 8-21 栄養療法の種類について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
- 8-22 輸液の基礎について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 輸液の知識は必要ないと考えている
- 8-23 電解質と水の管理について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 電解質や水の管理に対する知識は必要ないと考えている

- 8-24 脱水を評価（把握）し、適切な栄養管理法の選択について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
- 8-25 浮腫を評価（把握）し、適切な栄養管理法の選択について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
- 8-26 電解質と輸液に関して、ご自身の課題となっている点、困りごとをご記載ください。

■「退院（退所）計画・指導 在宅復帰のための栄養ケアの実践」に関して

- 8-27 入院（入所）時から退院（退所）時までの栄養ケアについて
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-28 退院（退所）における栄養支援について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-29 退院（退所）計画とクリティカルパスの役割について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-30 栄養連携の仕組みの理解と他施設との情報共有について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
 - 0 外的要因のために、実践につながらない
- 8-31 退院（退所）計画・指導に関して、ご自身の課題となっている点、困りごとをご記載ください。

■「在宅栄養ケア・マネジメント」に関して

- 8-32 在宅療養における栄養ケア・マネジメントについて
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
- 8-33 本人・家族とのコミュニケーションのあり方について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
- 8-34 在宅療養における専門職の役割について
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
- 8-35 在宅療養における栄養専門職としての取り組みについて
- 4 理解しており、スタッフに指導できる
 - 3 十分理解している・十分実践できるレベルである
 - 2 十分とはいえないが、情報の入手方法がわかる・何とか実践できる
 - 1 自信がない
- 8-36 在宅栄養ケア・マネジメントに関して、ご自身の課題となっている点、困りごとをご記載ください。

9. 次の各疾患等における栄養管理介入の際の課題や困りごとがありましたらご記載ください。

- 9-1 生活習慣病（肥満 脂質異常症）
- 9-2 糖尿病
- 9-3 腎臓病
- 9-4 心疾患
- 9-5 嚥下摂食障害（脳血管障害後遺症）
- 9-6 リハビリテーション
- 9-7 高齢者（認知症）
- 9-8 がん
- 9-9 終末期（看取り）
- 9-10 小児
- 9-11 障害児・者
- 9-12 その他